

51 沖縄の住まい (2)



1. 沖縄の伝統的な家屋を見て、沖縄の風土に適した工夫を調べてみよう。

(1) 次の文章を読んで空欄に適する語句を下記の語群から選びましょう。

①台風などの強風に対する工夫

・・・屋根瓦は(ア)で固めて、飛ばないように強風に備えました。また、家屋の周囲には(イ)を植栽し、石垣で囲いました。道路よりも一段低くして家を建て、(ウ)を設けて軒を低くする工夫もみられます。

②暑さをしのぐ工夫

・・・(ウ)は強い日差しを遮断する役割も果たします。風通しが良いように部屋の仕切りを少なくし、床下にもすき間を多く設けました。

③水不足に対する工夫

・・・屋根に雨どいを通して水を溜めて利用しました。粟国島では凝灰岩ぎょうかいがんを削って作った(エ) [博物館屋外に展示]を使って水を溜める工夫がなされました。

語群



トゥージ



しっくい
漆喰 (白い部分)



あま
雨ハジ



防風林

答え

ア

イ

ウ

エ

コラム 家屋の移り変わりや屋敷の配置

建築技術の進歩により、沖縄における家屋も時代とともに変化してきました。瓦屋根の家屋は、もともと士族階級にしか建築が認められていませんでした。廃藩置県以降にその制限が解かれ、このようなつくりが沖縄全土に広がっていきました。それまでの農民は、茅葺きかやぶの家や穴屋あなや (掘立て小屋) に居住していました。現在では鉄筋コンクリートの家が主流となっています。

屋敷内には、トウグワすいじ (炊事用の小屋)、アシャギ (離れ)、高床式の倉 [博物館屋外に展示]、フルたかゆかしき (豚小屋を兼ねたトイレ) などがあり、門の近くにはヒンプンを建てました。フルの側にはユウナくらの木が植えられ、その葉はトイレトペーパーの代用として使われました。屋敷のうしろにはアタイ (小さな畑) や、周辺には緊急時の燃料や、道具作りの目的から竹などを植栽しました。

2. 家屋に見られる信仰を調べよう。

かまど	いろり	二番裏座	一番裏座
土間（台所）	板間	ぶつ だん 仏 壇	とこ ま 床の間（床の神を祀る）
		二番座	一番座

(1) 二番座にある右の写真にはどんな信仰がみられますか。

まつ
を祀っている



(2) 土間（台所）にある右の写真にはどんな信仰がみられますか。

を祀っている



(3) この建物の中には魔除けがいくつかあります。魔除けのある場所を確認して、上の間取り図に○印を入れよう。

(4) 確認した魔除けを3つスケッチし、その名称も調べよう。

名称

名称

名称

その他に、井戸（カー）への信仰、フール（便所）の神や屋敷神などが信仰されました。